



「コミュニティユニオン東京」ニュース NO-068号 2015年7月25日
170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館5 F
TEL 03-3946-9277 FAX 03-3943-0936 E-mail staff@cutokyo.jp
http://www.cutokyo.jp 「こみゅーと」ラテン語「流れを変える」
「こみゅーと」バックナンバーをホームページで読めます

地域の労働運動の推進力 CU東京を1000人に！ 労働相談活動の強化、三多摩に拠点築く CU東京第7回定期大会開く ー 7月5日ラパスホール



730人の組合員に到達！

7月5日、第7回定期大会を執行委員16人、代議員36人、来賓など全体で65人の参加で開催しました。来賓には東京地方労働組合評議会井手口行夫事務局長、東京土建一般労働組合渡辺睦常任執行委員、新宿一般労働組合保科博一執行委員長、日本共産党東京都委員会近藤雅樹労働部長、東京都労働情報センター池袋事務所斎藤政造氏、東京労働相談センター所長前澤檀の各氏が

出席しました。大会は、柳沢孝史（こうとう）、鶴見充子（渋谷）の代議員を議長に、小倉一男執行委員長、来賓の挨拶後、高木書記次長より情勢・14年度の活動報告・及び決算報告、平山副執行委員長より15年度方針・予算案を提案しました。

地域の労働運動の発展の展望を示す

経過報告では、組合員が前年度比155人増の730人になり、前進して大会を迎えたこと、組合の役割、労働相談などの学習と実践が継続的な前進をつくったこと。組合をささえる協力組合員の組織化がこの1年、意識的にすすめられたこと。団体支部、三多摩協議会の結成に新しく踏み出したこと。組織の前進で入院共済の改善など報告されました。新年度の方針は、地域の労働運動の発展に、NPOや中小企業との連携、共同がかかせないこと、特に民主的労使関係の確立は、地域運動の推進力となること、CU東京の共済制度を活用した中小企業との連携強化を推進することを明確にしました。CU東京の地域における課題を確認し、組合の3000人到達の意義と、当面、早期に1000人組合実現を提起しました。討論では8人が発言（別項参照）は、この1年間の組織拡大、労働相談活動、争議のたたかい、新しい組織の結成など運動の前進を示しました。

新役員に執行委員長小倉一男、書記長高木典男を選出

大会は報告・方針及び、決算・予算を賛成多数で承認。スト権を賛成34票の多数で可決しました。新役員には委員長小倉一男、副委員長に井澤智、平山和雄、川村正好、高島素昭、大江拓実、寺川知子、書記長に高木典男の各氏を選出しました。（新役員全員は4面で紹介）

地域における労働者の「駆け込み寺」、CU東京は社会的役割を果たします

(挨拶要旨)

小倉一男執行委員長



安倍政権が「戦争法案」を強硬しようとしている中で大会を迎えました。全労連の呼びかけに応えたたかいに総力を挙げます。「生涯ハケン」「正社員ゼロ」を狙う、「労働者派遣法」「残業代ゼロ」「過労死促進」など労働法制の大改悪をすすめています。大企業応援の政治に歯止めを掛ける労働組合の社会的役割が求められています。非正規労働者や中小企業で働く労働者の要求に応えるCU東京の役割は大きい。この1年、「駆け込み寺」の役割を果たし、14支部・準備会、組合員数は730人になりました。CU東京は労働組合の「団結権、団体交渉権」と「助け合い機能」を未組織労働者に提供、「地域における労働者の駆け込み寺」、CU東京の社会的役割を果たします。地域の労働運動の発展に、NPOや中小企業との連携、共同は欠かせません。労働者を大切にする中小企業との連携を強めます。ご支援ご協力をお願いします。

来賓4氏のあいさつ要旨

すべての地域で個人加盟の地域組織を

東京地評 井手口行夫事務局長



CU東京はすべての労働者に開かれた「かけこみ寺」として役割を果たしています。文字通り先進的に組織拡大しています。すべての地域で個人加盟の組織

をたちあげに頑張ってください。「戦争法案」阻止のたたかいは自分たちの課題として奮闘しましょう。労働法制改悪は、間接雇用を合法化し、非正規に変えていく方向、廃案にする可能性があります。ともに力を合わせ奮闘していきましょう。大会おめでとうございます。

CU東京の発展に期待します

東京土建 渡辺睦常任執行委員



人見大委員長よりメッセージを預かったきました。CU東京が730人で大会を迎えられたこと、1年間の実増率が25%ということで、

同じく地域に根ざした組織を築いてきた東京土建として奮闘に敬意を表します。いま、すべての労働者が生存の権利すら脅かされる危機的状況です。マイナンバーも心配されます。「労働法制」改悪と「戦争法」案を阻止し、地域から労働運動を再活性化させるためにCU東京の発展に期待します。ともに頑張りましょう

毎回大会に参加し刺激を受けています

新宿一般 保科博一執行委員長



大会おめでとうございます。

新宿一般は現在562人、12月の大会まで600人目指しています。毎回大会に来て刺激を受けています。共済制度を前面に立て組織拡大は全国的に珍しいと思います。新宿区労連は単位組合の減少問題、団交で解決することに限界があると考えています。企業を変えていくのが地域労組の役割、現実を単位組合の人々に知らせていく。組織拡大しながらつくっていききたい。

ノビシロがあるのはローカルユニオン

日本共産党東京都委員会・

近藤雅樹労働部長



戦争法案に若者が立ちあがるなど新しい運動が広がり、数年間なかったこと。共産党としても広げに広げて何としても阻止していき

たい。運動として要の労働組合が非正規労働者を組織していく、CU東京が1.2倍になり、三多摩の組織化にも敬意を表したい。労働運動全体として社会的運動にして、広げることが課題だと考えています。何としても民主的組合が強大な組織に成長すること。ノビシロがあるのがローカルユニオン。大きな組合をつくるために頑張りましょう。

大会代議員8人の発言要旨

現在106

人 委員長・書記長に女性を選出



伊藤栄江代議員（渋谷）

CU渋谷の結成が提起され、立ち上がらないと決意しました。18人で結成、倍、倍の目標で昨年秋100人達成し、先月定期大会を106人で開き、現在108人です。

楽しい計画、学ぶ、活動するを大切にやってきました。今期の労働相談は26件ほとんどは副委員長が担っており、体制が不十分です。現在「渋谷集会」を秋に企画、実行委員会準備を進めています。西部労働学校を大会後開き、第一回に元全労連議長の坂内さんを講師に学びました。渋谷も「夢とロマン」を持って頑張ります。

会社が賃金の未払い認める



岡秀明代議員（団体支部）

5月15日に組合を結成しました。平成24年7月からの残業代について交渉。強引に給与カットのしくみを導入、仕事も干され2年近くになります。このままではやっていけない。生活もできないと

CU東京に加入。あっという間に団交。さっそく「調整金」という事で支払われることに。社員には何もわからない。その後、会社は賃金の未払いがあることを認めました。個人的にやっていた時には不安があったが、組合に入り支えられ、精神的に不安がなくなり、落ち着いて考えられるようになりました。組合の力です。

年内100人が目標です



三宅一也代議員（三多摩）

6月28日、結成大会を開きました。わたし書記長になりました。今日は5人で参加です。東京土建の出身です。2月に準備会を発足し、東京土建の小金井国分寺支部に当面の窓口を置かせてもらいました。東京土建の三多摩の支部をはじめ既存の組合に財政・人的支援を訴え、支援が広がって

きました。今日の大会まで50人めざそうと頑張り、丁度50人になりました。当面、渋谷の100人を目標に、年内100人が目標です。この間、労働相談も2件、体制をつくりつつ、解決を目指しています。組合員交流も大事にして頑張っていきます。今後よろしくお願いいたします。

5回の団交で退職金勝ち取る



船津斌瀨代議員（品川）

昨年の大会後、17人組合員が加入しました。労働相談では銀座の「〇〇〇〇」という名の知られた和菓子屋で、前社長が亡くなって以降、20人近くが退職金がなしのつぶて、「何とかしたい」とCU品川に相談。組合に加入し、資料を検討し交渉。会社は組合ということで身構え、コワモテの社員を同席させるなどしました。冷静に話しをすすめて、「何とかしないといけない」と会社に答弁させ、5回目の団交で、1年勤務で6万×勤続年数で合意。会社には商品の販売のことも「提案」し、CU東京は中小企業に安心して働ける職場の確立を考えていることを説明しています。組合では若い人の参加も考えレクリエーション、学習など執行委員会で話し合っています。

8時間で安心して暮らせる要求を



山田三平代議員（文京）

最賃のこと発言します。支部は現在63人1年で13人増え、脱退が12人です。他の支部に抜かれさびしいところです。労働相談は40数件取り組んできました。最賃ですが、コミュニティユニオンにとって大切な課題だと思います。888円では生活していけない。1カ月13万です。長時間労働やダブルワークをなささいということです。組合が強ければこういう事態にはならなかっただろう。今の初任給22~23万というのは残業代こみのものが多い。8時間労働で安心して暮らせる要求をかかげたら1人1人の要求を変えていけるのではないかと思います。賃金は社長と交渉しないとかかわらないのではなく、最賃を1500円にするという方が可能性があるのではないかと。神奈川では最賃を裁判でたたかっています。組合員の賃金アンケートをとるところからやっていってはどうだろうか。

組合員交流会に毎回20人ぐらいの参加

松井優希代議員（こうとう）

昨年9月、200人突破のレセプションを開きました。今、組合員は210人に到達しました。「職場、地域からひとりぼつちの労働者をなくす」運動度を広げています。



この運動の輪を広げていきたい。昨年9月7つの運動方針を立てました。組合員交流会に取り組んでいます。毎回20人ぐらい参加しています。自由に発言し交流と結びつきを深めています。6日や9日の宣伝、メーデーの参加など。労働相談は111件と前年度比111%と増えました。まずは職場の組合員が「ここなら安心して働ける」と思える組合を作っていきたい。

「労働者派遣法」改悪許してはならない

青木正憲代議員（こうとう）

2年前に前澤さん、中村さんにお会いしなければ雇いどめになった時に、倒れていただろうと思う。精神的、体力的に助かっています。



クビになるというのは6人に一人の貧乏人の仲間に入ってもらおうということです。6月14日に衆議院を通過した「労働者派遣法」回秋案は絶対通してはならない。勉強なくてはいけない。知らない人多いと実感している。廃案めざし頑張ろう。

共同広げ、結びつくような運動

香取義和代議員（ユニオンちよだ）

昨年ホームページ立ち上げました。反応がありました。相談したい人が判断してアクセスしてくると思うので、よかったですと考えています。それぞれが結びつくような運動をすすめていきたい。



東京法律事務所の板倉弁護士からアメリカの労働運動の話聞きおもしろかった。関心のある人はオープンにしてあるので、フェイスブックからアクセスしていただければと思います。自動車の社団法人の会社の女性から雇いどめの相談。みなとみらいで大きなイベントがあるので自分の問題をそこで宣

伝したいとしたいと。地元の神奈川労連に連絡し、区労連、ユニオンちよだに相談し、一緒に宣伝しました。おなじ区内でも、同じユニオン同士でも共同できるところはしていきたい。

2015年度新役員

- 執行委員長 小倉一男（こうとう）
- 副執行委員長 井澤 智（東京土建）
平山 和雄（東京支部）
川村 好正（こうとう）
高畠 素昭（練馬）
大江 拓実（三多摩）
寺川 知子（渋谷）
- 書記長 高木 典男（東京支部）
- 執行委員 小林 昇（ユニオンちよだ）
高橋 孝（港）
松井 優希（こうとう）
佐藤 盛雄（品川）
宮澤 罔寛（江戸川）
岡野 堅持（葛飾）
宮下 武美（足立）
山田 三平（文京）
作田 信義（豊島）
野中 晴（北）
伊藤 悦子（練馬）
伊藤 栄江（渋谷）
宮本 一（三多摩）
三宅 一也（三多摩）
遠藤日出男（東京支部）
- 会計 渡辺 睦（東京土建）
塚本 晴彦（東京支部）

今号は第7回大会を開催しましたので、大会特集号としました。この間、支部の大会が開かれ、原稿を寄せていただきましたが次号に掲載させていただきます。ご了承を下さい。
機関紙「こみゅーと」を昨年より不十分ですがカラーにし、記事についてはできる限り支部の経験、とりくみ紹介してきました。
大会では、機関紙の原稿の担当を各支部にも提案しました。CU東京のホームページのリニューアルとあわせ機関紙活動を強化していきます。よろしくお願いいたします。